

令和3年度 佃島小学校

評価委員：小島泰明委員、松井弘委員、鈴木猛夫委員、青柳聖真委員 大倉清子委員

評価時期 令和4年2月

1 重点目標の評価

重点目標1「豊かな社会性、人間性の育成」について

- ・学校経営方針の第1に「あいさつの励行」を掲げている。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した挨拶運動を行った。特に、目を見て、自ら進んで、相手に聞こえる声であいさつを行うことを目指して、「挨拶オリンピック週間」を設定し取り組んだ。その結果、進んで挨拶をする児童も増えた。今後も、挨拶をする大切さを学び、挨拶をしようとする意識を育てる場の設定を行っていくことが大切である。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、児童の心身にも影響が見られるのではないかと。児童の悩みに対して、担任だけでなく学年、スクールカウンセラーを含め、学校全体で取り組んでいくことを行っている。タブレット端末の活用を含め、今後も児童理解に努めていくことが大切である。

重点目標2「基礎基本の確実な定着」について

- ・児童1人1台のタブレット端末が配布され、学習形態も大きく変化した。特に、タブレット端末を活用した授業は、児童1人1人に考える活動や友達の考えを比較しながら、自身の考えを深める活動を促進してきた。また、タブレット端末を利用したドリルパークの活用により、苦手な分野への集中した学習ができるようになった。今後は、タブレット端末を活用した授業の充実はもちろんだが、人と人との触れ合いを大切にしたい個に応じた指導の充実を図っていくことが大切である。今後「主体的、対話的、深い学び」という新たな視点も踏まえながらの授業改善に関わる研究実践が継続されることを期待する。

重点目標3「生涯を健康に過ごす素地の育成」について

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用の中での体育の授業であった。特に、長距離や短距離のような走る運動においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からも児童の健康上の観点からも配慮した授業計画が必要であった。次年度も、同様にマスク着用をしての体育活動が行われると予想される。だからこそ、児童一人一人にスポーツの良さに触れることができるような活動が期待される。

2 今後の改善に向けた意見

- ・次年度も今年度同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した教育活動が求められる。タブレット端末の1人1台配布は、オンラインによる保護者会の開催や外部との交流など、使い方によっては教育活動の幅を広げていける。今後の取組が期待される。その一方で、SNSの使い方については学校と保護者が協力して進めていくことも大切である。